



災害からの教訓 ～ クスリの備蓄も考えましょう

お正月に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらしました。大規模災害が発生すると水や食料の備蓄を考えさせられます。我々も被災者となっていた経験があります。多くの犠牲がありました。教訓を後世に残すため、お子さんやお孫さんたちと危機意識を共有しておきたいものです。今回は基礎疾患のある人だけでなく、家の中にクスリの備蓄も考えてもらいたいという提案です。

家に備えておきたいクスリは

クスリが欠かせない方々はもちろんですが、いざという時の置きぐすりについて、どういうものが必要でしょうか。

- ①総合感冒薬 … 鎮痛剤、解熱剤、抗ヒスタミン剤(鼻水・くしゃみ)、鎮咳剤などが配合されているもの。
- ②解熱鎮痛剤 … お子さんには子供用を。イブプロフェンやロキソニンなどは熱・痛みを早く抑えますが、副作用にも注意。
- ③胃腸薬 … 胃の運動を促す成分と胃酸をコントロールする成分の両方が入っているもの。
- ④湿布薬 … 打撲や打ち身を想定し冷湿布のものを用意。 ⑤かゆみ止め … ステロイド軟こうなど

このほかに避難所では炭水化物中心の食事となります。「総合ビタミン剤」はエネルギー代謝に必要な酵素を補う役割を担ってくれますので、避難所生活を考えると用意しておきたいものの一つです。

基礎疾患のある人の備え

- ①常に服用しているクスリがなくなる一週間前には、受診するようにしておきましょう。
- ②外出時にも数日分のクスリを持ち歩きましょう。
- ③お薬手帳を所持しましょう。服用しないほうがよいクスリについて、事前に相談しておきましょう。

保管方法について

置きぐすりは個々に保管するのではなく、一カ所に決めておき、すぐに持ち出せるようまとめておくことが大切です。使用期限や用法、用量など確認できるように、箱や説明書も捨てないでください。また、瓶入りのものは開封日を記載しておき、1年程度でクスリを更新するよう心掛けてください。「備えあれば憂いなし」、大切な家族を守る準備です。



節分 2/3 土曜日 ～ 鬼についての考察

毎年2月は「節分、豆まき」を題材につづってきましたが、今年は「鬼」にフォーカスします。

そもそも「鬼」はなんなの？

鬼が文献に出てくるのは、平安時代「オヌ」=「目に見えないもの」を示す言葉でした。中国から伝わった死体を示す「鬼」という漢字は、後から当てられたもの。オヌは人間を襲い、切り刻んで食べてしまう存在だったそうです。鎌倉から室町の武家中心の時代では、権力者に従わない反逆者というイメージで描かれます。この後、能や狂言などで角が二本あり、牙をむき出しにしたお面が登場、嫉妬や執念に囚われた人間が悪霊に変貌したストーリーで描かれていきます。

鬼滅の刃では、不遇な人が嫉妬や執念を持ちながら鬼に変化し、人間を襲い食べてしまうのですが、その不遇なときの回顧シーンは涙なしには見られません。鬼に同情してしまうのは私だけではないと思います。

鬼は全部で5色いる？

人間の5つの煩悩(5蓋)に合わせて、鬼は5色で表されているそうです。①赤鬼…「欲望」、②青鬼…「怒り、恨み」、③黄鬼…「心の弱さ」、④緑鬼…「怠惰、不健康」、⑤黒鬼…「疑義・愚痴」。節分に現れる鬼は、赤や青色の肌に角、トラ柄のパンツというのが定番で、なかなかカラフルな鬼は見覚えがありません。ちなみにドリフターズはカミナリさまです。



二本松市安達ヶ原のオニババ伝説

弊社東北第二営業所がある二本松市には鬼婆伝説があり、「お姫様の病気を治すために、占いにより女性のお腹の赤ん坊を食べました。しかしその女性は自分の娘だった」という切なく可哀そうなお話です。20年前に娘と一緒に訪れたときも、ちょっとおどろおどろしいキャラクターでしたが、今はもっと激烈になっております。映えが見つかる 安達ヶ原ふるさと村へ是非おいでください。



シカゴ大豆相場、ドル円相場など

1月31日 1 豆/12.11 ドル 前月比△1.09 ドル、コーンは 4.4 ドル、小麦は 6.0 ドルと、3 大穀物のうち大豆だけが、値下がりしています。背景には中国は主にブラジルで購入にしており、シカゴ大豆の需要が低位にあるとのこと。世界的な大豆需要の高まりがあることに加えて、パナマ運河の渇水による通航制限やブラジルの高温乾燥がつづいていたことなど、世界的な異常気象が価格に影響を及ぼすことが懸念されます。

ドル円相場「147.7 円 前月比△6.4 円」

能登半島地震により、マイナス金利解除が見送られたことで、一時 141 円台にあった相場は、一気に円安方向となりました。1/30 現在 アメリカの長期金利は 4.07%と年初からの上昇トレンドが一服しております。利下げ開始時期について 3 月か 4 月か 7 月か、市場関係者の見方が分かれるところではあります。一方、日本の長期金利も現在 0.705%とアメリカ長期金利と同じ動きをしており、日米金利差が小さくなる様子はありません。しかし、円安により海外投資家の日経株式の買越し額は増加しており、株式相場は活況を呈しております。昨年のバブル後最高値 33,752 円は軽く飛び越えて、1/31 に 36,286 円台を付けております。今年はいよいよ 40,000 円でしょうか。



エルニーニョによる干ばつ

令和 5 年産国産大豆の第 2 回入札結果

夏の高温障害の影響がなかった北海道では 206 本/2,039 トンの上場がありました。青森 21 本/208 トン、岩手 6 本/59.4 トン、秋田 0 トン、宮城 19 本/188 トン、山形 9 本/89 トンと高温障害の影響に加え作柄の悪さもあり、依然として規格外大豆が多い印象です。弊社は上位等級にターゲットを絞り、昨年より高めで入札参加。なんとか数本落札することができました。



今年は競争が厳しく入手が難しい銘柄もありますので、弊社営業担当へお早めにお声掛けください。

【入札結果総括】

区分	上場数	落札数	落札率	平均価格
普通大豆	2,344 トン	1,582 トン	67.5%	8,780 円
特定加工用	1,592 トン	1,160 トン	72.9%	8,197 円
合計	3,936 トン	2,741 トン	69.6%	8,533 円

【過去 3 年の第 2 回上場数量の推移】

区分	2024 年 1 月	2023 年 1 月	2022 年 1 月	2021 年 1 月
普通大豆	2,344 トン	2,925 トン	3,307 トン	3,067 トン
特定加工用	1,592 トン	1,170 トン	1,118 トン	723 トン
合計	3,936 トン	4,095 トン	4,425 トン	3,789 トン
落札率	69.6% (2,741 トン)	88.2% (3,614 トン)	79.9% (3,534 トン)	84.9% (3,215 トン)

【銘柄別落札価格】

産地	粒別	品種銘柄	今回	前回 (2023/12 月)	増減
北海道	中粒	とよまさり	9,106 円	8,310	+796 円
青森	大粒	おおすず	9,370 円	9,560	△190 円
岩手	大粒	リュウホウ	8,610 円	なし	—
新潟	大粒	里のほほえみ	9,470 円	9,360	+110 円

次回の入札は 2 月 21 日 (水) の予定です。

□ 本社	03-3211-4831	□ 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
□ 東北第一営業所	0229-54-1151	□ 飼料部福島営業所	0243-24-1240
□ 山形営業所	0234-21-9144	□ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
□ 東北第二営業所	0243-24-5818	□ 大豆保管定温倉庫(宮城大崎市・福島二本松市)	